

記者発表資料(資料配布)			
月 日	担 当 課	担当者(連絡先)	その他配布先
3月11日 (木)	兵庫自治学会事務局 ((公財)ひょうご震災記念 21 世紀研究 機構研究戦略センター)	兵庫自治学会代表運営委員兼事務局長 ((公財)ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 研究戦略センター 副センター長) 松原 浩二 事務局次長 大西 敏文 (TEL:078-262-5713)	なし

## 令和2年度兵庫自治学会研究発表大会優秀発表者の表彰式について

兵庫自治学会では、昨年12月の研究発表大会分科会における研究発表をもとに、このたび優秀賞などの受賞者を決定し、3月15日(月)16時から神戸市教育会館にて表彰式を行います。

### 1 優秀賞 (4件)

分科会	発表者及びテーマ	選考理由
第1分科会 産業・経済	加西農業改良普及センター 福田 憲志  テーマ：花き産地の継続性確保のための新規栽培者の募集・育成方法に関する調査研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>花き産地の先進事例を丹念に調査研究されている。</li> <li>一次産業の活性化（継続性確保）等に関する研究において、花き産地の既存研究は数少ないなかで重要な視点を示唆されている。</li> <li>花き産地の新規栽培者受入側としての姿勢や工夫などが示されており、兵庫県内の産地において参考になる点が多くあった。</li> </ul>
第2分科会 行政運営・人づくり	兵庫県立大学大学院経済学研究科 井上 あい子  テーマ：多様なコミュニケーション・チャネルを活用した戦略的自治体広報の確立に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症対応や災害時の県民への情報提供のあり方が問われている中で、広報活動の充実を研究テーマとして分析を行ない、今後の施策について有用な提言をされたことは非常に評価できる。</li> <li>養父市をモデルとしてアンケート分析を行い、行政の使いたい広報ツールと市民が求めている広報ツールのギャップについて、丁寧に分析している。さらにアンケート結果だけでなく、自らがサロンやCATVに参加した経験を提言に活かしたところがすばらしい。</li> </ul>
第3分科会 地域振興	兵庫県立人と自然の博物館 衛藤 彬史  テーマ：配車システムを用いた住民主体交通の導入に適する地域条件と運営課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>県の政策課題に沿ったタイムリーなテーマで先進的な事例を扱っており、自治学会にふさわしい研究である。</li> <li>綿密な文献調査、ヒアリング調査に基づく報告で、問題点についての把握、考察も的確であり、研究としての構成も整っている。</li> <li>IT 技術を導入して出てきた課題の指摘は、これから県内地域において導入する際に検討すべき重要な内容といえる。</li> </ul>
第4分科会 行政全般 ※大学生の部	兵庫県立大学環境人間学部環境人間学科環境共生社会コース 永瀬 紗織  テーマ：地域おこし協力隊の起	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域循環共生圏を枠組みとして、西粟倉村の取組を自立分散型社会の取組としてとらえ、客観的に調査・研究されたところが興味深い。</li> <li>農山村のサステナブルという視点で全体をとらえることで、都市との関係も考える場合の基盤ができ</li> </ul>

業支援に関する考察－岡山県西粟倉村を事例として－	ると考えられる。
--------------------------	----------

## 2 特別賞（2件）

分科会	発表者及びテーマ	選考理由
第3分科会 地域振興	ひょうご観光本部 宇野 真由美  テーマ：イギリスにおけるウォーキングの取り組み事例と地域への貢献について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イギリス視察の成果を、観光政策に関わる発表者ならではの視点で分析している。</li> <li>・実際にウォーキングに参加し、参与観察した結果に基づく報告であったため、語りに説得力があった。</li> <li>・運用に関わる資金、動く人々のしくみ、しつらえ、人々の感性に触れている部分が興味深い。</li> </ul>
第4分科会 行政全般 ※大学生の部	関西学院大学経済学部上村ゼミ ロジックモデルによる西宮市の事務事業評価研究グループ  テーマ：ロジックモデルによる西宮市の事務事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロジックモデルの構築にはさらなる検討が必要だと考えられるが、行政の政策プロセスに積極的に関わろうとする姿勢は十分に評価できる。</li> <li>・若者をはじめ多様な主体が自治の場に関わり、役割を担うという活動を行っている点からその活動に期待したい。</li> </ul>

## 3 表彰式

令和2年度兵庫自治学会研究発表大会優秀発表者の表彰式を次のとおり行います。

(1) 日 時：令和3年3月15日（月） 16:00～17:00

(2) 場 所：神戸市教育会館501会議室

なお、令和3年3月下旬に発行予定の学会誌「兵庫自治学第27号」及びホームページ (<http://hapsa.net/>) に優秀賞受賞者から投稿いただいた論文を掲載します。

### (兵庫自治学会の概要)

#### ・目的

兵庫県及び県内の市町が主体的に取り組むべき行政課題について研究し、その政策形成活動を助長することによって、兵庫県政及び県内の市町行政の振興と地方自治の発展に寄与する。

#### ・沿革

平成5年11月6日 「兵庫県政学会」として設立

平成15年9月27日 「兵庫自治学会」に改組

#### ・構成員

兵庫県・県内市町職員、県内在住在勤の学識者、NPO関係者など430名

#### ・代表運営委員

山下 淳 関西学院大学法学部教授

加藤 恵正 兵庫県立大学減災復興政策研究科教授 ほか